

士別市農業委員会だより

農業士別

(題字: 渡辺市長 書)

第 35 号

令和 4 年 8 月 15 日



主な内容

◆令和 3 年士別市農地賃借料情報 ……	2	◆家族経営協定を結ぼう ……………	3
◆士別市農業奨励賞 ……………	2	◆新農業委員紹介 ……………	4

編集/発行 士別市農業委員会 編集委員会
〒095-8686 士別市東 6 条 4 丁目 1 番地 (士別市農業委員会内)
TEL 0165-26-7168 / FAX 0165-29-6373

令和3年士別市農地賃借料情報

令和3年1月から令和3年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a当）は、以下のとおりとなっています。

【田の部】

地域	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	算出の基礎 とした筆数
中央	11,922	15,960	8,000	33筆
武徳	11,200	13,000	10,000	36筆
中士別	10,500	13,000	10,000	19筆
上士別	10,151	15,000	8,000	46筆
多寄	10,243	11,539	7,000	44筆
温根別	11,322	15,960	5,000	55筆
朝日	7,797	9,446	5,359	100筆

【畑の部】

地域	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	算出の基礎 とした筆数
中央	3,228	4,000	2,000	39筆
武徳	2,812	4,045	1,000	31筆
中士別	2,503	3,007	1,500	24筆
上士別	2,253	3,000	1,767	8筆
多寄	2,136	4,045	866	37筆
温根別	2,542	3,712	1,000	53筆
朝日	1,983	3,000	1,800	108筆

令和3年度 士別市農業奨励賞受賞

士別市農業奨励賞は農業経営に対する意欲的な取り組みや地域における積極的な活動が模範となる農業者を表彰するもので、令和3年度はJA北ひびき ICT 農業研究会、下士別町の大友仁司さんの1名・1団体が表彰されました。



家族経営協定を結ぼう！

○家族経営協定ってなに？

家族経営協定とは、家族全員が意欲をもって農業経営に取り組めるよう、経営面・生活面について話し合い、取り決めた事項を文書化するものです。

会社組織と違って、明文化された規則のない家族単位での農業経営の中で、家族の話し合い次第で内容を決めることができます。

その家族それぞれにあった協定を結んで、日々の経営や生活に活かしてみませんか？

○制度上のメリットは？

家族経営協定を締結し、経営主とともに経営に参画している配偶者や後継者に対しては認定農業者制度、農業者年金制度などで次のようなメリットがあります。

- ① 認定農業者の共同申請ができます。
- ② 農業者年金保険料に対して、一定割合の国庫補助が受けられます。

家族経営協定を結ぶ・見直すタイミングと協定の目的

① 夫婦二人の農業経営

【目的】

お互いが自立した農業者として対等を築く

【メリット】

- ・共同経営者として認め合い、経営に積極的に参加しやすくなる。
- ・家事、育児の分担や協力ができる。

② 後継者が就農する時期

【目的】

後継者にやる気・興味・自信を持たせる

【メリット】

- ・経営の目標を決めることにより後継者が農業経営に主体的に参加するよう促す。
- ・将来結婚する際に自分の仕事の内容を説明しやすい

④ 経営移譲をする時期

【目的】

スムーズな経営・家事の移譲と親夫婦の生活保障に配慮する。

【メリット】

- ・後継者の経営に対する意欲が高まり、責任が持てるようになる。
- ・相続の話し合いによりスムーズな経営移譲ができる

③ 後継者が結婚する時期

【目的】

家族の一員として配偶者を迎え、親夫婦との円満な人間関係を作る

【メリット】

- ・家事、育児も労働の一部として位置づけられ、家事、育児分担も明確になる。
- ・後継者の配偶者にとっては、気兼ねなく、安心して育児ができる。

家族経営に関するご質問等ございましたら、士別市農業委員会へお問い合わせください。

新農業委員紹介



梅津 宣保
(下士別地区)

この度、農業委員に任命され早くも一年が過ぎようとしています。分からない事ばかりですが、先輩委員をはじめ事務局の方々にご指導や助言を頂きながら、何とか務めてまいりました。

近年の農業情勢は、担い手不足、交付金の見直し、そして肥料の高騰と大変厳しい状況ではありますが、地域の農地を守るため少しでも手助けが出来ればと思っております。



渡辺 亨
(上士別地区)

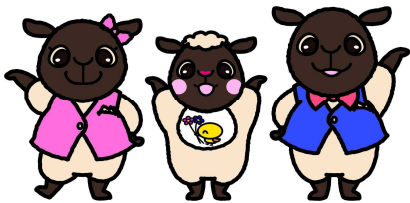
北ひびき農協より選任され農業委員となり、早くも一年が過ぎました。この間分からないことが多く先輩委員さんや事務局の方々からご指導を頂きながら農業委員の職の重さを痛感しております。農業を取り巻く環境が急変する中、迅速丁寧な対応をすべく皆様と共に努力して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



古川 昇
(多寄地区)

昨年7月に団体推薦で農業委員となりましたが、何も分からないので先輩委員、事務局の方々の指導、助言を頂きながら地域のために少しでもお役に立てるよう努力して参ります。先輩達が築いて来たこの地域を受け継ぐ若い人達が、希望を持って進んでいけるよう、少しでもお手伝いが出来るよう努力して参ります。

よろしくをお願いします！



- ◆発行日 週1回(金曜日)
- ◆発行所 全国農業会議所
- ◆購読料 月700円(送料、税込)

全国農業新聞の購読について

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。農業者の「経営と暮らしに役立つ」ホットな情報を毎週金曜日にお届けします。詳しくは、士別市農業委員会へお問い合わせください。

編集後記

昨年11月、水田活用交付金の厳格化が示され、転作を主とする農家は営農計画すら立たず、混迷のスタートとなった。

一方ロシアとウクライナとの戦争勃発は世界各国の経済に大きく影響を及ぼした。特に原油や生産資材・食料品を外国に委ねている日本にとっては計り知れない打撃となった。燃油価格の高騰をはじめ、肥料・農薬の価格高騰は営農の継続が困難な情勢を向かえている。

こうした情勢ではありますが、一刻も早い経済の回復と安定を望み、本年こそ豊穡の秋を迎えますようお祈り申し上げます。

(編集委員 沼舘 初男)

- 編集委員長 中山 義隆
- 編集副委員長 森野 良次
- 編集委員 沼舘 初男
- 編集委員 岡崎 京子
- 編集委員 松井 薫
- 編集委員 鈴木 淳一
- 編集委員 木下 一彦